

みずほCustomer Desk Report 2016/06/02 号(As of 2016/06/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	110.64	1.1135	123.20	0.9933	1.4482	0.7236
SYD-NY High	110.83	1.1194	123.30	0.9952	1.4508	0.7300
SYD-NY Low	109.05	1.1114	121.91	0.9862	1.4385	0.7228
NY 5:00 PM	109.53	1.1188	122.50	0.9883	1.4417	0.7255
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.87/12.39	△25RR	0.973	Yen Call Over		

NY DOW	17,789.67	2.47	債券市場	日本2年債	-0.2400	▲0.7bp
NASDAQ	4,952.25	4.20		日本10年債	-0.1120	▲0.7bp
S&P	2,099.33	2.37		米国2年債	0.8988	2.2bp
日経平均	16,955.73	▲279.25		米国5年債	1.3799	0.8bp
TOPIX	1,362.07	▲17.73		米国10年債	1.8354	▲1.0bp
シカゴ日経先物	16,865	▲220.00		独10年債	0.1360	▲0.3bp
ロンドンFT	6,191.93	▲38.86		英10年債	1.3730	▲5.6bp
DAX	10,204.44	▲58.30		豪10年債	2.2920	▲1.1bp
ハンセン指数	20,760.98	▲54.11	為替市況	USD/CNH	6.5869	0.0004
上海総合	2,913.51	▲3.11		ドルインデックス	95.42	▲0.47
USDJPY 3M Vol	10.97	0.41%	商品市況	CRB指数	186.825	0.67
USDJPY 6M Vol	10.82	0.22%		NY金	1,214.700	▲2.80
EURJPY 3M Vol	11.12	0.49%		WTI	49.010	▲0.09
EURJPY 6M Vol	11.07	0.39%		Dubai Spot	44.38	▲1.78

東京	東京時間のドル円は110.64レベルでオープン。前日に英国のEU離脱派優勢との報道からリスクオフムードが高まったことで、日経平均はオープン後に軟調推移を見せるが、仲値過ぎに中国製造業PMIが節目となる50を上まわり、その後発表された豪第1Q・GDPも予想比良好な結果となると、クロス円の上昇にサポートされ、ドル円は高値110.83をつける。その後は110円台半ばでのみ含み推移が続くが、特段ニュースのない中で、ドル円が断続的にストップオーダーを巻き込みながら下落の勢いを強めると、一時109.65まで下落し、日経平均も▲250円超の急落をみせる。引けにかけてドル円の戻りは限定的で、結局109.96レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
シカゴ	ロンドン時間のドル円は断続的に下落する展開となった。朝方は109.96レベルでオープンし、一時的に110円台前半まで値を戻す場面もあった。しかし、安倍首相が日本時間夕方に行った記者会見では補正予算案について特段触れられず、多くの市場参加者が5-10兆円程度の予算案が発表されると期待していたことから、ドル円は失望売りから下落する。併せて欧州株もアジア株の流れを引き継ぎ序盤から軟調に推移していたことで、クロス円の下落もドル円の下押し要因となり、ドル円は109.23レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.1125レベルでオープンし、全般的なドル売りの流れ、およびユーロドルの上昇を受け堅調に推移し、1.1175レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルフリー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円は109.23レベルでオープン。朝方は、海外市場の流れを引き継ぎ109.05まで下落するが、このレベルでは買い意欲もあり、米5月製造業PMIが予想を上回り、続いて発表の5月ISM製造業景況指数が支払価格が上昇したこと等から予想を上回り、109.55まで戻す。その後は軟調な株式市場が下げ幅を縮小する展開に円がやや売り戻されたことから109.70まで戻す。明日のECB理事会では金融政策の変更は無く、OPEC会合でも特に何も合意に至らないとの見方が強まる中、午後は狭いレンジでの推移が続く。109.53レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でドル売りが優勢となったことから下値を切り上げ、昨日の高値1.1173を抜け、1.1175レベルでNYオープン。朝方は高値圏での推移が続くが、ISM製造業景況指数結果を受けたドル買い戻しに1.1145まで反落する。その後は方向感の無いレンジでの推移が続くが、午後に入り株式市場が徐々に横ばいまで戻す展開を受け、ユーロ円が買い戻されたことから、ユーロドルも下値をサポートされ、一時1.1194まで戻し、1.1188レベルでクロスした。(NY00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:森谷・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月1日	08:50	設備投資(前年比)	第1Q 4.2%	2.4%
	10:00	製造業PMI/非製造業PMI	5月 50.1/53.1	50.0/-
	10:30	GDP(前期比/前年比)	第1Q 1.1%/3.1%	0.8%/2.8%
	10:45	財新・製造業PMI	5月 49.2	49.2
	17:00	製造業PMI・確報値	5月 51.5	51.5
	17:30	OECD 2016年世界経済見通し	-	-
	20:00	MBA住宅ローン申請指数	5/27週分 -4.1%	-
	22:45	製造業PMI・確報値	5月 50.7	50.5
	23:00	ISM製造業景況指数	5月 51.3	50.3
6月2日	03:00	ページブック	-	-

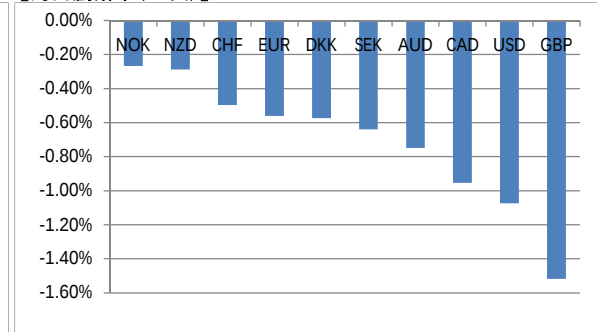
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月2日	08:50	対外及び対内証券売買契約	5/27週分 -	-
	10:30	貿易収支	4月 -A\$2,100M	-A\$2,163M
	10:30	小売売上高(前月比)	4月 0.3%	0.4%
	20:45	ECB政策金利/預金金利/貸出金利	6月 0.00%/-0.40%/0.25%	0.00%/-0.40%/0.25%
	21:15	ADP雇用統計	5月 173K	156K
	21:30	ドラギECB総裁、会見	-	-
	21:30	新規失業保険申請件数	5/28週分 270K	268K
	21:35	パウエルFRB理事、討論会	-	-
	-	OPEC総会(ウィーン)	-	-
6月3日	02:00	カプラン・ダラス連銀総裁、講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.80-109.80	1.1120-1.1220	122.00-123.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は下落する展開。前日の英国国民投票に関する世論調査の結果を受けてリスクセンチメントが悪化する中、東京時間にドル円は110円台半ばからストップを巻き込み109円台後半まで急落。安倍首相の記者会見では事前に予想されていた通り消費増税先送りを表明した一方、補正予算案については特段言及がなかったこと等から失望売りが入り109円台前半まで下落。米5月ISM製造業景況指数の強い結果を受けて109円台後半まで戻す局面もあったものの、このレベルでは上値を抑えられ、109円台半ばでクロスした。本日のドル円相場は上値の重い推移を予想。英国の国民投票結果への不透明感の高まりが意識されリスクセンチメントが悪化している状況下、引き続き円が買われやすい地合いが継続するだろう。